こと。

(3)のアの(イ)については，第二次世界大戦の過程での米ソ対立や脱植民地化への萌芽などに触れ，大戦の複合的な性格に気付くようにすること。また，この戦争が人類全体に惨禍を及ぼしたことを基に，平和で民主的な国際社会の実現に努めることが大切であることを認識できるようにすること。戦後の国際政治では，冷戦と植民地の独立の動向が相互に関連していたことに触れること。

(4)については，一つ，あるいは複数の観点について取り上げ，これまでの学習を振り返り適切な主題を設定すること。その際，自由・制限，平等・格差，開発・保全，統合・分化，対立・協調などの観点に示された二つの要素のどちらかのみに着目することのないよう留意すること。

オ　内容のDについては，次のとおり取り扱うものとすること。

(1)については，中学校までの学習並びにA，B及びCの学習を踏まえ，学習内容への課題意識をもたせるとともに，(2)及び(3)の学習内容を見通して指導すること。

(2)については，アジア・アフリカ諸国が国際関係の変化に主体的に対応して国家建設を進めたことや，地域連携や経済成長と冷戦との関わりに気付くようにすること。また，この時期の日本の国内政治や，日本とアジア諸国との関係についても触れること。

(3)については，冷戦終結後も引き続き課題として残されたことや，冷戦終結後に新たに生じた課題などに触れること。その際，国家間の対立だけでなく，民族対立が拡大したり，武装集団によるテロ行為を契機として戦争が生じたりするなど，地域紛争の要因が多様化していることにも触れること。また，世界経済の安定に向けた取組を扱い，日本が先進国としての国際的な地位を確立してきたことに気付くようにするとともに，政府開発援助（ODA）や国際連合平和維持活動（PKO），持続可能な開発のための取組などを扱い，日本が国際社会における重要な役割を担ってきたことにも気付くようにすること。

(4)については，この科目のまとめとして位置付けること。その際，Bの(4)及びCの(4)の内容を更に深めたり，Bの(4)及びCの(4)とは異なる観点を取り上げたりして，この科目の学習を振り返り適切な主題を設定すること。

第4　日本史探究

1　目　標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2　内　容

A　原始・古代の日本と東アジア

(1) 黎明期の日本列島と歴史的環境

諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　次のような知識を身に付けること。

(ｱ) 旧石器文化から縄文文化への変化，弥生文化の成立などを基に，黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成，原始社会の特色を理解すること。

イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ｱ) 自然環境と人間の生活との関わり，中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係，狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して，環境への適応と文化の形成について，多面的・多角的に考察し，表現すること。

(ｲ) 黎明期の日本列島の変化に着目して，原始社会の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現すること。

(2) 歴史資料と原始・古代の展望